

抗ヘルペス剤が保険適用でないため
高額な薬代に悩まされている方の手記

「松本医院との出会い（メニエール病手記）」

小西満智子 72歳

2015年12月16日

はじめに

私の息子はクローン病でした。“でした”というのはもちろん治ったからです。縁あって松本先生と出会い、先生の治療法に真面目に取り組み、現在はなんとか普通の生活を営んでおります。

本題（自分の話）に移ります。2年前の7月、朝起きようとするとう頭の中がぐるぐる回って目を開けていられなくなりました。無理に立ち上がろうとすると吐き気がするので、「しばらく休んでいれば収まるかな」とウトウトしていましたが一向に収まらず、病院が開いているうちにと、11時過ぎにタクシーでかかりつけの病院に行きましたが、その時の私の顔つきは、顔なじみの看護師さんがびっくりするようなものだったようです。そして、点滴をしてもらいましたが、時間がなく少量しか入れられなかったため、夕方もタクシーを呼んで病院へ行きました。そして翌日も受診しました。

ひどい回転性の眩暈は、点滴を2回してもらおうと翌日には軽くなりましたが、頭の中が重く耳がぼーっとする症状は、ずっと続いて治りませんでした。そのかかりつけ医は内科が専門だったので、「やはり耳鼻科へ行った方が良いかな」と考え、2週間くらい後に耳鼻科を受診しました。そして、案の定、メニエール病という診断を受け、イソバイトの水薬、ステロイドの点滴による治療を受けることになりました。「これではいけない」と思っていたところ、息子が漢方の「松本医院に行ってみては？」と提案してくれました。「ああそうだった」と思い、3日後には大阪の高槻へ向かいました。

松本医院で診察を受けると、松本先生は息子の事を憶えてくださっていたようで、私に対してもしっかりと励ましていただきました。そして血液検査をもらうと、ヘルペス抗体価が高いことがわかりました。私は口内炎がちょくちょく出来ることがあったし、10年くらい前には、腰周りに帯状疱疹が現れた

こともあったくらいなので、これは私も予想していました。

私が今回メニエール病になったのは、発症する前の時期に疲れとストレスが重なったからではないかと思います。実は発症する2ヶ月前に、主人が脳梗塞で倒れて入院し、私は毎日朝から夕方まで主人に付き添う生活を送っていたのです。主人の症状は一進一退で、誤嚥性肺炎にもなり、大変気の抜けない毎日でした。そのため、私の身体が参ってしまったようです。

現在、アシクロビルと漢方の煎じ薬を飲む生活を始めて1年半になります。他の薬は血圧の薬も睡眠導入剤も止めました。膝関節症で整形外科も通っていましたが、痛み止めとヒアルロン酸の注射も止めました。

初めの1年間は、ただ頑張って我慢、我慢の漢方でした。回転性のひどい眩暈はありませんでしたが、耳の閉塞感には、ずっと悩まされ続けました。また、元々便秘ではありませんでしたので、便が以前より柔らかくなってしまったのには困りました。そして、何が一番困ったかといえば高額な薬代です。先生に何か言うたびにアシクロビルの処方量が増えて、その度に薬代も増えたからです。

主人はいろいろありましたが、おかげさまで施設に入所して落ち着いた生活を送っています。しかし、施設への支払いは、主人の年金額だけではとても足りません。それに加えて私の薬代が月に6万円では生活が成り立ちません。

最近、何がどうなったのか私の膝が軽くなってきました。「軟骨がすり減ってしまっただけは、いくら漢方でも改善されるわけがない」と膝の事は諦めていましたが、思わぬ誤算でした。痛みがなければ動けるので、「自転車こぎもスクワットもやって筋肉をつけよう」と前向きになれています。

現在も眩暈は再発しておりませんが、依然として高額な薬代に悩んでいます。抗ヘルペス薬のアシクロビルが、保険で認めてもらえるようになれば、いろいろな病気がどんどん治っていくのに、なぜそれが出来ないのでしょうか。それを先生に伝えましたら、「アシクロビルでメニエール病は良くなるので、保険適応にして欲しい」という私の声を愛知県の医師会に届けなさいと叱られました。

金銭的な限界は近づいていますが、なんとか治療を続け、あと少し松本医院でお世話になりたいと思います。ありがとうございました。